

令和4年度 京都府立宮津高等学校伊根分校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

令和4年4月20日

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>智力、人間性、体力が調和した生徒の育成をめざす。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人一人が安心して楽しく過ごせるクラス・学校作りを行う。 2 すべての生徒に基礎学力を定着させるため、授業のユニバーサルデザイン化を推進する。 3 関係専門機関との連携を強化し、多様な生徒に応じた支援を行う。 4 生徒一人一人の能力・適性を把握し、系統的な進路指導を行い希望進路の実現を図る。 5 人間的な触れあいを密にしたきめ細かな指導により、心豊かな人間性を育てる。 	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒・保護者による学校評価アンケート（全項目）において、91.6%が肯定的評価であり、新型コロナウイルス感染症流行以前の水準に回復した。 2 特別支援やICT活用、授業のユニバーサルデザイン化等をテーマとして、充実した教職員研修を実施できた。 3 4年生全員が勤労体験学習を最後までやり遂げた。特に丁寧な日誌作成指導や勤労体験学習発表会に関わる指導により、自己の在り方を振り返り、社会性を向上させる機会を用意できた。 4 4年生全員が納得のいく進路実現を果たした。特に就職指導において、担任・進路指導部が連携して職場訪問を行い、適切な職業紹介ができた。 5 生徒指導において特別指導が0件であった。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症及び生徒減という環境の下で、生徒が充実感を感じられる教育活動を工夫する必要がある。 2 教職員と生徒、生徒同士のふれあいの中で、生徒の自己肯定感を向上させる取組を充実させる必要がある。 3 勤労体験学習を充実させる。特に総合的な探究の時間やLHRとの連携を強化する。 4 個に応じた指導法やICT活用の研究をさらに進める必要がある。 5 保護者による学校評価アンケートにおいて、PTA活動に関する項目の評価が低下した。感染対策と両立しつつ、家庭と学校が交流できる学校行事を企画する必要がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習への興味関心を引き出すための方策を研究し、暗記中心の学習ではなく、思考力重視の深い学びを追求する。 2 生徒減に対応し、感染対策と両立させつつ、可能な限り学校行事の活性化を図る。 3 個に応じた指導法やICT活用に関する研究を進め、一人ひとりの生徒が「わかる楽しさ」を実感できる授業を展開する。 4 規範意識の醸成を図るとともに、温かく思いやりのある集団作りに努める。 5 「総合的な探究の時間」等と連携して勤労体験学習を充実させ、生徒の社会性の向上と自己肯定感の育成を図る。 6 進路実現に必要な基礎学力を身につけさせる取組や進路面談の充実を図る。 7 生徒の健康に関する意識向上を図り、健全な生活習慣を身につけさせる。 8 社会生活を営むために必要な力を育むため、体験的な学習を充実させる。 9 時宜に応じて積極的に生徒面談を実施し、生徒の内面理解に努めるとともに、家庭や外部機関との連携を進める。 10 「総合的な探究の時間」を計画的に実施する。 11 閉校準備を本格的に開始する。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題								
組織・運営	学習活動や学校行事を活性化し、生徒の自己肯定感を高める。	<p>新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、多様な体験的・探究的な学びを実施する。 [生徒による学校評価アンケートにおける全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～80%</td> <td>79～70%</td> <td>69%以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～70%	69%以下		
	A	B	C	D								
90%以上	89～80%	79～70%	69%以下									
学校と家庭の連携を深め、信頼される学校づくりを進める。	<p>家庭と学校、親と子が交流できる学校行事やPTA活動を実施する。 [保護者による学校評価アンケートにおける全項目のA+Bの割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～80%</td> <td>79～70%</td> <td>69%以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～70%	69%以下			
A	B	C	D									
90%以上	89～80%	79～70%	69%以下									
教務部	生徒の実態に応じ、指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図る。	<p>「授業を理解できた」と学びの実感を得ることができるよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善に取り組む。 [生徒の授業評価アンケート項目1～6のAの割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95%以上</td> <td>86～95%</td> <td>85～76%</td> <td>75%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	95%以上	86～95%	85～76%	75%未満		
		A	B	C	D							
95%以上	86～95%	85～76%	75%未満									
<p>各教科等において効果的にICTを活用して授業を行うためにICT活用指導力を高める校内（全体・個人）研修を実施する。 [校内研修の実施回数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6回以上</td> <td>4～5回</td> <td>2～3回</td> <td>1回以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	6回以上	4～5回	2～3回	1回以下				
A	B	C	D									
6回以上	4～5回	2～3回	1回以下									
生徒指導部	規範意識の醸成を図るとともに、温かく思いやりのある集団作りに努める。	<p>生徒会行事を通して、道徳心、規範意識、自己肯定感の向上させ、取り組み内容を充実させる。 [満足度（生徒指導部独自アンケート）]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85%以上</td> <td>84～75%</td> <td>74～65%</td> <td>65%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	85%以上	84～75%	74～65%	65%未満		
A	B	C	D									
85%以上	84～75%	74～65%	65%未満									

進路指導部	生徒の進路意識を高め、社会性を育み、希望進路の実現を目指す。	学年部と連携し、進路学習や個人面談を行い、全員の希望進路の実現を図る。 [希望進路を実現できた人数] <table border="1" data-bbox="871 248 1433 319"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>6人</td> <td>5～4人</td> <td>3～2人</td> <td>1～0人</td> </tr> </table>	A	B	C	D	6人	5～4人	3～2人	1～0人			
A	B	C	D										
6人	5～4人	3～2人	1～0人										
保健部	健康安全に関する啓発活動を行い、基本的な生活習慣の見直しと健康増進を図る。	保健だよりを活用し、生徒自らが健康に関する学びを深める機会を増やす。健康診断後や生活アンケート後に面談を行う。放課後にライフスタイル指導を行う。 [ライフスタイル指導参加延べ人数] <table border="1" data-bbox="898 486 1460 557"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>30人以上</td> <td>29～20人</td> <td>19～10人</td> <td>9～0人</td> </tr> </table>	A	B	C	D	30人以上	29～20人	19～10人	9～0人			
A	B	C	D										
30人以上	29～20人	19～10人	9～0人										
	個々の生徒のメンタルヘルスの安定に努める。	スクールカウンセラーによる全員面談を行う。他分掌の教職員とも連携を密に図り、生徒が継続して登校できるように支援体制を整える。 [生徒学校評価アンケート1, 2の項目A+Bの割合] <table border="1" data-bbox="871 722 1433 793"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>85%以上</td> <td>84～65%</td> <td>64～55%</td> <td>55%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	85%以上	84～65%	64～55%	55%未満			
A	B	C	D										
85%以上	84～65%	64～55%	55%未満										
第4学年	全員の希望進路実現を図る。	勤労体験学習を通して働くことを学ばせるとともに社会性の向上をはかり、自己理解を深めながら希望進路の決定と実現を図る [希望進路の実現] <table border="1" data-bbox="871 959 1433 1029"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>2～4名</td> <td>0～1名</td> </tr> </table>	A	B	C	D	6名	5名	2～4名	0～1名			
A	B	C	D										
6名	5名	2～4名	0～1名										
国語科	思考力と表現力を高める。	思考を働かせられる問いかけを多くし、全員が考えを発表する機会を設ける。 [生徒の授業評価アンケートA+Bの割合] <table border="1" data-bbox="871 1163 1433 1233"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満			
A	B	C	D										
90%以上	89～70%	69～50%	50%未満										
地歴公民科	日本の近現代史の概略を学習し、現代社会との関連を理解していく。	国際関係理解・関心向上の補助として、地図（着色を含む）歴史人物カードを授業導入に使用する。知識の定着に定期的な小テストを実施する。 [生徒の授業アンケートの9+10のAの割合] 											

		A	B	C	D										
		90%以上	89～70%	69～50%	50%未満										
保健体育科	健やかな心身の育成、生涯体育に繋がる資質と運動技能の向上を図る。	「体力の維持・向上」「運動技能・知識の獲得」「協力・協調性」を実感できる授業の展開、運動やスポーツが好きになる気持ちを育成する。 [満足度（体育科独自アンケート）] <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85%以上</td> <td>84～75%</td> <td>74～65%</td> <td>65%未満</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	85%以上	84～75%	74～65%	65%未満		
A	B	C	D												
85%以上	84～75%	74～65%	65%未満												
家庭科	生涯の見通しをもってよりよい生活を送るための能力と実践的な態度を育成する。	実践的・体験的な学習活動を取り入れたり、ICTを効果的に活用したりすることで、生徒の学びを充実させる。 [生徒の授業評価アンケート項目1～6のAの割合] <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満		
A	B	C	D												
90%以上	89～70%	69～50%	50%未満												
総合的な学習（探究）の時間	丹後地域の名所と歴史的建造物を調べることにより、探究活動の目的を達成する。	丹後地域（京丹後市、宮津市、与謝野町）の名所と歴史的建造物を調査研究し、個々の個性を生かして調査結果を発表することで、プレゼンテーション能力の向上を目指す。 [達成度（独自アンケート）] <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85%以上</td> <td>84～75%</td> <td>74～65%</td> <td>65%未満</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D	85%以上	84～75%	74～65%	65%未満		
A	B	C	D												
85%以上	84～75%	74～65%	65%未満												

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に向けた改善の方向	
--------------	--